



報道関係各位

2011(平成23)年 8月某日

海士町、「ないものはない」宣言。

～海士町らしいデザインで職員名刺を一新、PRポスターも～

このたび海士町は、‘海士らしさ’を表現するロゴマークを決定しました。キーワードは、『ないものはない』。これに合わせて職員名刺や職員証、役場用封筒のデザインも変更し、「これは何？」とコミュニケーションを生み出すようなデザインに一新。新ロゴを使った大胆なPRポスターも、町内各地に貼り出し始めました。



海士町の今年の流行語大賞を狙います！（職員談）



役場庁舎前も…

島の玄関・菱浦港も…
『ないものはない』！

『ないものはない』という言葉は、①**無くてよい**、②**大事なことはすべてここにある**、という**2重の意味をもちます**。離島である海士町は都会のように便利ではないし、モノも豊富ではありません。しかしその一方で、自然や郷土の恵みは潤沢。暮らすために必要なものは充分あり、今あるものの良さを上手に活かしています。『ないものはない』は、このような海士町を象徴する言葉、島らしい生き方や魅力、個性を堂々と表現する言葉として選ばれました。

地域の人どうしの繋がりを大切に、無駄なものを求めず、シンプルでも満ち足りた暮らしを営むことが真の幸せではないか？何が本当の豊かさなのだろうか？東日本大震災後、日本人の価値観が大きく変わりつつある今、素直に『ないものはない』と言ってしまう幸せが、海士町にはあります。

このロゴマークは、役場の若手職員チームが半年以上、14回の白熱した会議で検討し、ポスターは役場地産地商課が制作しました。デザインを担当したのは、海士名物「島じゃ常識・さざえカレー」のパッケージも制作した著名デザイナー、梅原真氏です。今後このポスターは、島内外で広く使っていく予定です。



(上)
名刺は3パターンあり、選んで使用。
色はシアン(青)100%にこだわり、まじりけのないシンプルな潔さを表現。

(左)
封筒のデザイン案のひとつ。